

日清食品ホールディングス

日清食品グループの栄養ビジョン

日清食品グループは、「東京栄養サミット2021」への支持を表明し、「栄養改善」と「持続可能な食システム」の実現に取り組みます。

<目標・取組>

(1) ウェルネス製品

全製品の健康・栄養性の向上を目指します。さらに、2030年までにウェルネス製品の当社グループ国内販売額を230億円に拡大させ、人々の健康増進へ貢献します。

(2) 食物アレルギー検査

2030年までに、アレルギー推奨表示品目に関し、精度を高めつつ一斉に検査できる新規法を開発します。本法を普及させ、累計10万回以上の検査を実施し、食の安全性と食料供給の確保へ貢献します。

(3) 代替肉

2030年までに、日清食品における即席麺具材「植物性たんぱく質」の国内使用量を年間1,100トンに引き上げ、代替肉の活用を進め、持続可能な食料システムの構築へ貢献します。

(4) 食品廃棄物

2030年までに、日清食品グループの国内での流通・販売における廃棄物総量を2015年換算から50%削減することで、持続可能な食料サプライチェーンの構築に貢献します。

<達成状況（2023末時点）>

(1) 399億円

(2) 検査法開発完了、検査実績7460回

(3) 774トン

(4) 51.1%削減

<目標に向けた今後の取組>

(1) 引き続き、健康増進に寄与する健康・栄養性を向上させた製品を継続的に拡大していく

(2) 検査法開発により検査体制の整備を完了。今後も製品検査を継続し、製品の安全性確保に努めていく

(3) 2030年での達成を見据え、代替肉原料への置き換え等を計画的に進めていく

(4) 今後も継続的に食品廃棄物の増加を抑え、さらに減少させていけるように取り組んでいく。

(東京栄養サミットアクションプランにおいて賛同した項目)

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 食料システムの変革 | <input checked="" type="checkbox"/> 個人の栄養に関する行動変容の促進 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 食関連産業のイノベーションの推進 | <input checked="" type="checkbox"/> 途上国・新興国の栄養改善への支援 |

【企業・団体の概要】

日清食品グループは、即席麺、冷凍食品、チルド食品、菓子・シリアル、飲料などの製造販売を世界各地で展開しています。